物語を読み、自分で考えたことを伝えよう 「海のいのち」

日時 令和3年9月30日(木) 公開授業②
児童 男子8名 女子9名 17名
指導者 川村 啓子

1 単元の構想

<児童の実態>

- ・物語の描写を基に人物相関図をつくり、中心人物の心情の変化を捉える学習をしてきている。
- ・物語を読み、比喻や反復などの表現の工夫を見付け、作品の魅力として捉えることができる。

<単元について>◎中心教材 ○補助教材

◎「海のいのち」(東京書籍 新しい国語 六)

○「山のいのち」「街のいのち」「川のいのち」「たんぼのいのち」「木のいのち」「牧場のいのち」

本単元は、「感想や考えをもつ」ことについて学習する系統の単元として位置付けられている。

本教材は、中心人物である太一が、父や与吉じいさといった海に生きる人物との関わりを通して村一番の漁師に成長していく物語である。太一は多くを語らないが、作中に登場する人物(父、与吉じいさ、母)の生き方や考え、山場での瀬の主との対峙が、太一の成長や変容に大きく関わっている。随所に描かれる様々な描写や題名に着目することで、多様な読みの可能性を引き出すことに適した教材であると言える。また、中心教材と同じ作者の「いのちシリーズ」を並行読書することで、それぞれの物語が描く「いのち」について、自分なりの読みや考えをもつことができると考える。

本単元の学習を通して、作中の叙述や描写を細かく捉え、捉えたことを基に人物の心情や関係性について想像し、読者として作品に対する自分なりの読みや考えを深める力を養うことを目指す。

付けたい力

物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える力

単元に位置付ける言語活動

物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて書く。(リーフレット)

2 研究の柱にかかわって

研究の柱2 ①思考の共有・可視化を図った学習活動

本単元では、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについてリーフレットにまとめるという言語活動を行う。物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えることは、一人の読者として、自分の感動の中心を捉えることでもある。そのためには、物語を丁寧に読み、内容の理解を深めることが重要である。そこで、毎回読み取る学習の最後に、課題に対する自分の考えを文章に表していくようにする。また、太一の成長過程に沿って、人物の会話や行動などの描写を基にそれぞれの人物像や生き方を捉えながら読み進め、父や与吉じいさ、母、そして瀬の主との関係を1枚の人物相関図に仕上げていく活動を行う。自分の考えの集積から、最終的に物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉や文章に表し、人物相関図と共にリーフレットにすることができるようにしていく。自分の読みや考えを、文章や人物相関図などに可視化することで、人物同士の関係やそれぞれの人物像、太一の心情の変化を捉えることができると考える。そして、互いの読みを交流し、自分の読みを広げたり深めたりすることができるようにしていきたい。

研究の柱2 ②学び合いにおける思考活動

本単元では、研究の柱2②に示された思考活動のうち、主に次の思考活動を位置付ける。

- ・根拠を明らかにしながら人物相関図をつくり、人物同士の関係を捉える。【理由付ける】【関係付ける】
- ・山場での瀬の主との対峙で、なぜ、どのように太一の心情が変化したのかを考える。【焦点化する】【比較する】【理由付ける】
- ・どの描写や表現から、どのようなことを感じたり考えたりしたのかについて話し合う。【比較する】【理由付ける】【関係付ける】

3 単元の学習計画

(1) 単元の指導目標

- ① 比喻や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 [知識及び技能] (1)ク
- ② 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)エ
- ③ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)オ
- ④ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ
- ⑤ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。 「学びに向かう力、人間性等」

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。((1)ク)	<p>① 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)</p> <p>② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p> <p>③ 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	① 進んで、登場人物の心情や関係性、物語などの全体像を具体的に想像しながら自分の考えをもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。

(3) 単元の指導と評価の計画 (10 時間)

時	主な学習活動	指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1 2	<p>○ 「海のいのち」を通して読み、単元の学習課題をつかむ。</p> <p>・ 「海のいのち」を通読し、初発の感想と「ぐっときたカード」を書く。</p> <p>・ 「言葉の力」と単元名から、学習課題をつかむ。</p>	<p>・ 中心人物を確認し、中心人物の心情の変化を捉え、自分に強く語りかけてきたことをまとめることがゴールであることを知らせる。</p> <p>・ 児童の初発の感想を把握し、学習計画に生かすように心掛ける。</p>	

	<p>○学習課題を基に学習計画を立て、ゴールの見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の設定や構成、登場人物などを確認し、何を学びたいかを話し合い、単元の学習計画を立てる。 ・あらすじをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの例を提示し、具体的なイメージをもつことができるようにする。 ・児童と話し合いながら、学習課題を基に学習計画を立てていくようにし、ゴールを共有する。 	
3 4 5 6 本時 7	<p>○太一の成長過程に沿って、会話や行動などの描写を基に人物像や人物の相互関係を捉え、太一の心情の変化を読み取る。</p> <p>○課題に沿って、「自分の考えシート」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃の太一と父の人物像を読み取る。 ・中学校を卒業する年の太一と与吉じいさの人物像を読み取る。 ・屈強な若者になった太一と与吉じいさの死、母の悲しみを読み取る。 ・瀬の主と対峙する太一の心情の変化を読み取る。 ・父となり、村一番の漁師であり続けた太一の生き方を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人物像や相互関係を捉えることで、太一の成長や変化には、父や与吉じいさ、母などの会話や考え方が大きく関わってくることに気付くことができるようにする。 ・描写と、その描写から自分なりに考えたことを区別して発表するように支援し、根拠をもって読み取ることができるようにする。 ・様々な描写や表現の工夫に着目し、比較しながら読み取ること、太一の葛藤や心情の変化を捉えることができるようにする。 	<p>【知・技①】</p> <p>比喩や反復などの表現の工夫に気付いているか確認する。(発言、振り返り)</p> <p>【思・判・表①】</p> <p>会話や行動、様子などの叙述や描写を結び付け、登場人物の性格や考え方など、人物像を具体的に想像しているか確認する。(発言、人物相関図)</p> <p>【思・判・表②】</p> <p>太一の成長や心情の変化を、太一に大きく関わっている人物の描写と結び付けながら考え、まとめているか確認する。(発言、自分の考えシート)</p>
8 9	<p>○題名の「海のいのち」の意味と太一の成長を関係付けながら、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを「ぐっときたカード」に書き、リーフレットを仕上げて紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物相関図をまとめる。 ・太一の成長や変化をまとめる。 ・「ぐっときたカード」を書く。 ・グループごとに交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初発で書いた「ぐっときたカード」と比較しながら、あらためて「ぐっときたカード」を書くことを伝える。 ・初発と比較し、互いの読みを学び合うことで、深い読み取りができたことを称賛する。 ・これまでの学習の集積がリーフレットに活かされるように支援する。 	<p>【思・判・表③】</p> <p>自分の考えが伝わるように、描写と自分の考えを区別して書いているか確認する。(ぐっときたカード)</p> <p>【主体的①】</p> <p>課題に沿って何度も読み返ししながら、進んで太一の心情の変化を捉え、自分の考えを伝えようとしているか確認する。(発言、リーフレット)</p>
10	<p>○「いのち」シリーズの中から1冊を選択し、「ぐっときたカード」を書いて紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いのち」シリーズの1冊を選ぶ。 ・「ぐっときたカード」を書く。 ・友達と交流する。 <p>○単元全体の自分たちの学びを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・並行読書で進めてきた他の「いのち」シリーズから選択して「ぐっときたカード」を書き、友達と交流する場を設定する。 ・描写を基に、根拠をもって自分の考えをまとめることができたことを称賛する。 	

4 本時の指導（6時間目／全10時間）

（1）目標

山場での太一の心情の変化を，太一に大きく関わっている人物の描写と結び付けながら考え，まとめることができる。

（2）展開

段階	学習活動	指導上の留意点（・） 評価
つかむ5分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 太一は，なぜ瀬の主にもりを打たなかったのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画の掲示や，太一の成長過程に沿って読み取ってきた「自分の考えシート」を見ながら前時までの学習を想起し，単元のゴールと本時の課題について確認するようにする。
かんがえるあらすわす35分	3 太一がもりを打たなかった理由について，自分の考えをもち，ノートに書く。 4 本時の学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の流れ 描写，会話に着目すること これまでの人物相関図 5 本時の学習場面を音読する。 <ul style="list-style-type: none"> 一斉読み 6 太一がもりを打たなかった理由について，全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 太一の「夢」について 太一の描写と読み取った心情 「一人前の漁師」と「村一番の漁師」 瀬の主の様子 父，与吉じいさ，母との関係 7 本時の学習を踏まえて，課題に対する自分の考えを「自分の考えシート」にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 学び合う前に，課題に対する自分なりの考えをもつ場を設定し，個々の読みを大切にする。 人物の心情を読み取る手掛かりとなるよう，本時の学習場面の登場人物と着目する観点を示す。 前時までの人物相関図を確認することで，太一の変化を確認できるようにする。 着目する観点を意識しながら音読することができるよう，声を掛ける。 課題に沿って全体で話し合いながら，互いの共通点や相違点を見付けたり，描写とそこから自分なりに想像した太一の心情について交流したりすることで，個々の読みを広げたり深めたりすることができるようにする。 対比する言葉や，本時で特に考えさせたい描写について発問することで，太一の心情の変化を捉えることができるようにし，変化前→太一の葛藤→変化後に分けて板書する。 前時までの人物相関図を参考にし，太一の心情の変化には，太一と瀬の主だけではなく，父，母，与吉じいさと太一との関係が大きく関わっていることに気付くことができるようにする。 初めにもった課題に対する自分の考えを，学び合いを踏まえ，あらためて考え直し，「自分の考えシート」に書くように指示する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の考えを書くことが難しい児童には、人物相関図を参考にして考えることができるように支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思・判・表②】</p> <p>山場での太一の心情の変化を，太一に大きく関わっている人物の描写と結び付けながら考え，まとめている。</p> <p style="text-align: right;">(発言, 自分の考えシート)</p> </div>
ふりかえり 5分	<p>8 本時の学習について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太一の心情の変化について ・課題に対する自分の考えについて ・友達から学んだこと <p>9 次時の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り，本時の課題に対する自分の考えを書くことができたかどうか，友達の考えからどんなことを学んだかなどについて振り返ることができるようにし，本時のがんばりを認める。 ・次時は，父となり，村一番の漁師であり続けた太一のその後について読み取る学習であることを知らせる。

(3) 評価

おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
<p>山場での太一の心情の変化を，太一に大きく関わっている人物の描写と結び付けながら考え，まとめることができている。</p>	<p>板書やこれまでの人物相関図，友達の読みなどを参考にしながら，太一や瀬の主，他の人物の描写に着目し，どんな気持ちがあつて太一の心の中の葛藤が起こったのか，それは誰の描写が影響しているのかを問いかけることで，人物の心情を捉えることができるように支援する。</p>